

川内川水系流域治水プロジェクト

行動計画 取り組み個表

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

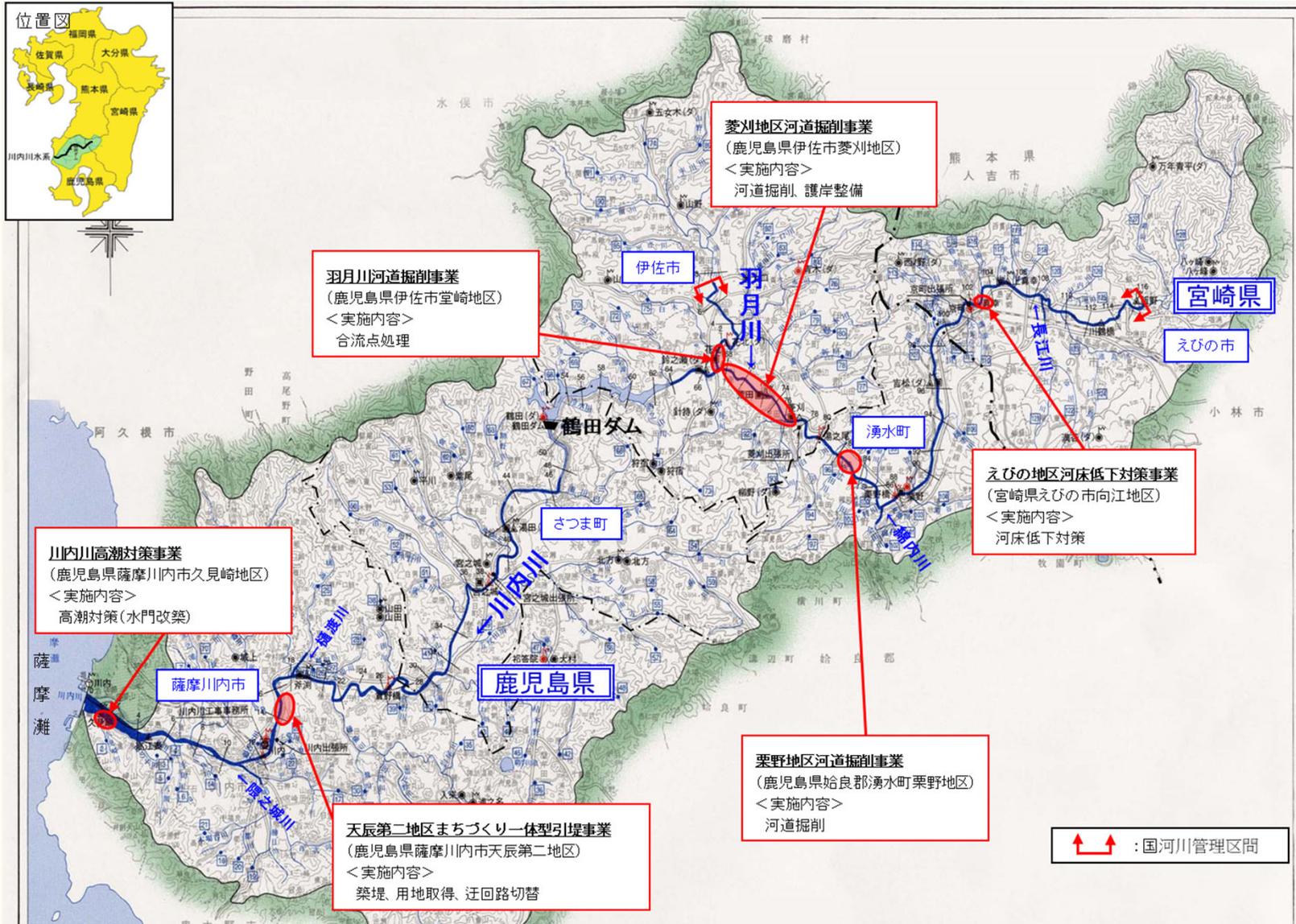
川内川水系流域治水協議会

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

令和4年度 主な事業実施箇所

【川内川河川事務所】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、引堤整備、堤防強化等	川内川河川事務所	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

令和4年度危機管理型水位計と簡易型河川カメラの設置

【川内川河川事務所】



● 令和4年度簡易型河川カメラの設置箇所 1台
えびの市役所(えびの市 長江川)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置	川内川河川事務所			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～



川内川河川事務所 杉町事務所長 (株)薩摩川内市観光物産協会 井龍社長

FM さつませんだいと防災情報の提供及び活用に関する協定の締結

【川内川河川事務所】

令和5年2月22日

近年、大雨に見舞われる頻度が高まっている中、川内川河川事務所では、住民一人ひとりの防災行動意識の更なる向上を図るため、この度コミュニティ放送局「FMさつませんだい」と協定を結びました。



川内川河川事務所



FMさつませんだい
87.1MHz

FMさつませんだい

- ・情報に**切迫感**を持たせたい
- ・情報取得の**簡素化の実現**
- ・地域住民全体を対象とした**広域な情報発信**の実現

- ・水害時河川に関する**詳しい情報**を入手できていない
- ・リアルタイムに河川情報を取得し**迅速な情報発信**

コミュニティ放送局と協力し防災情報へアクセスするためのきっかけを作る

〈水位レベル2～3〉
氾濫注意水位を突破
今後さらに水位上昇の恐れ

ラジオを通じて
地域住民に情報発信

ラジオに情報提供

2

ラジオより情報発信

〈水位レベル4～5〉
氾濫危険数値に達する見込み
大規模災害発生への恐れ

河川事務所から
ラジオの中継放送

河川事務所にラジオ担当者参集

河川事務所より中継放送

FMさつませんだいに、
リスナーから
川内川に関する投稿

河川事務所が把握
できていない情報を入手

リスナー情報をメールで確認

状況把握、関係機関との共有
防災エキスパート会からの助言

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	防災情報伝達における関係機関の連携強化	川内川河川事務所			▶

川内川水系流域治水プロジェクト

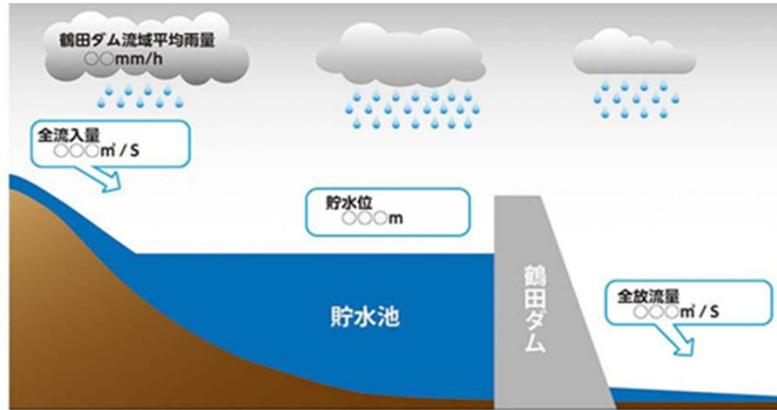
～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

鶴田ダムの貯水率をホームページ・情報掲示板に表示

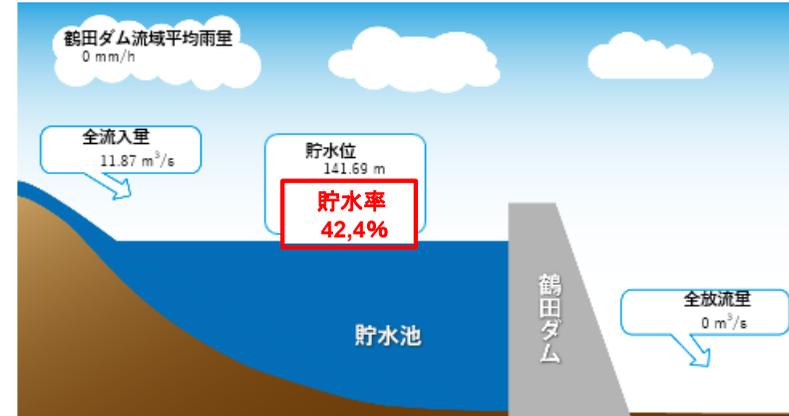
【鶴田ダム管理所】

○鶴田ダムホームページに、新たに『貯水率』を表示できるように改良しました。

改良前



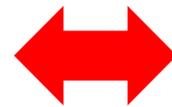
改良後



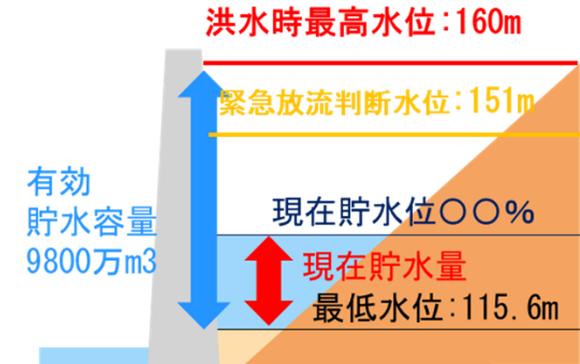
○情報掲示板に、新たに『貯水率』を表示できるように改良予定。(令和5年出水期開始予定)

鶴田ダム情報
洪水調節中
流入 4000m³/s
放流 2400m³/s

交互表示



鶴田ダム情報
洪水調節中
貯水位 143m
貯水率 50%



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等	鶴田ダム管理所	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル

－ 10分で防災 －



福岡管区気象台HP（教材はこちら）

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきると思いますか？

何が起きる	
ここに色々書いてください！	

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何が起きる	どういう行動をする
	今度は、ここに書いてください！

ステップ2 話し合う

他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところにひなす。
雨がたかんふる	進路などはあくしおく。
土砂くずれ	水、食べものを準備しておく。
高潮川暴れ	高いところへいく。
強風	

ステップ3 振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。

起きる災害を考える



自分の行動を考える



行動を話し合う



各班の意見をみんなで聞きましょう



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	➔		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

森林整備による流出抑制対策・治山施設整備による土砂流出抑制対策 【林野庁 九州森林管理局 北薩森林管理署】

森林整備

人工林の多目的機能発揮のため、国有林の地域別の森林計画に基づき間伐等に取り組めます。



間伐前



間伐後

	4年度実績	5年度予定
間伐	871ha	753ha
新植	117ha	143ha

治山施設整備

地域住民の安全・安心等を確保するため、国有林の地域別の森林計画等に基づき谷止工等の予防・復旧治山に取り組めます。



施行前



施行後

	4年度実績	5年度予定
谷止工	5基	2基
山腹工	1ha	—

※事業量は川内川流域の3森林管理署等の計

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	林野庁	▶		
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	林野庁	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

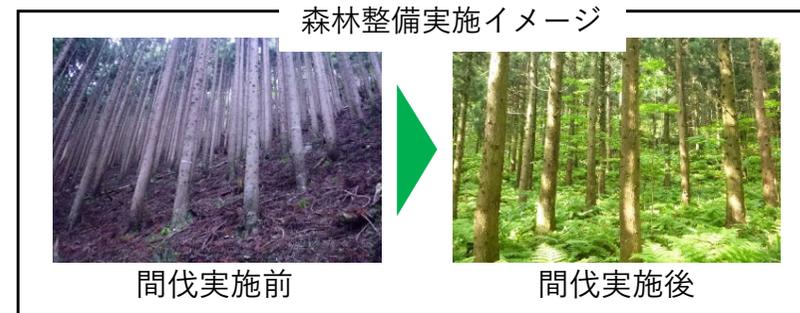
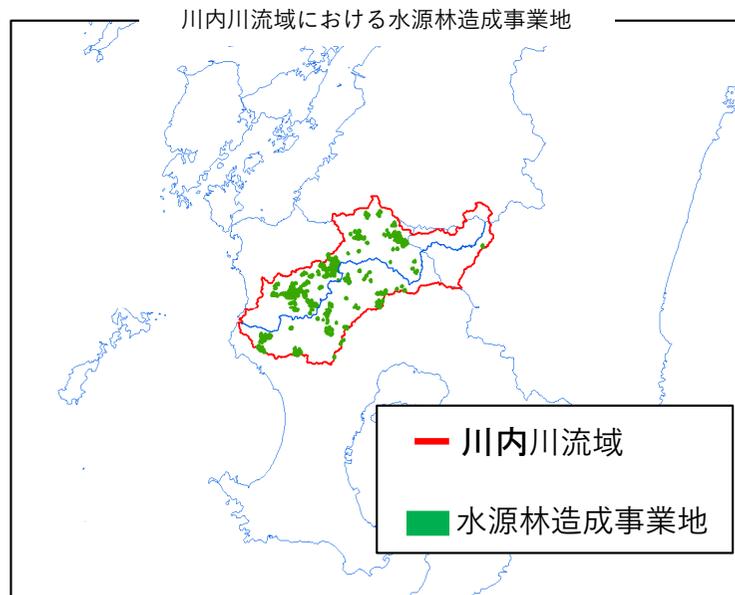
森林整備による流出抑制対策

【森林研究・整備機構 鹿児島水源整備事務所】

流域における対策

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 川内川流域における水源林造成事業地は、263箇所（森林面積 約3100ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。（令和4年度においては、約73haの保育間伐、19haの植栽。）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全	森林整備による流出抑制対策	森林研究・整備機構			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川整備箇所【鹿児島県】

○洪水氾濫対策として、川内川下流域では麦之浦川で、上流域では針持川と羽月川、市山川、会田川で護岸整備や橋梁架替等の整備を進めていく。

羽月川

整備内容：河道掘削 等

■ 対策状況



市山川

整備内容：河道掘削、護岸整備 等

■ 対策状況



麦之浦川

整備内容：築堤、護岸整備、橋梁架替 等

■ 対策状況



針持川

整備内容：築堤、護岸整備、橋梁架替 等

■ 対策状況



会田川

整備内容：河道掘削 等

■ 対策状況



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	築堤、護岸整備、橋梁架替 等	鹿児島県			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川整備箇所（災害関連事業）【鹿児島県】

○令和2年7月豪雨や令和3年7月豪雨により、家屋等の甚大な浸水被害が発生した山野川や海老川では、再度災害防止を図るため、災害関連事業により整備を進めていく。

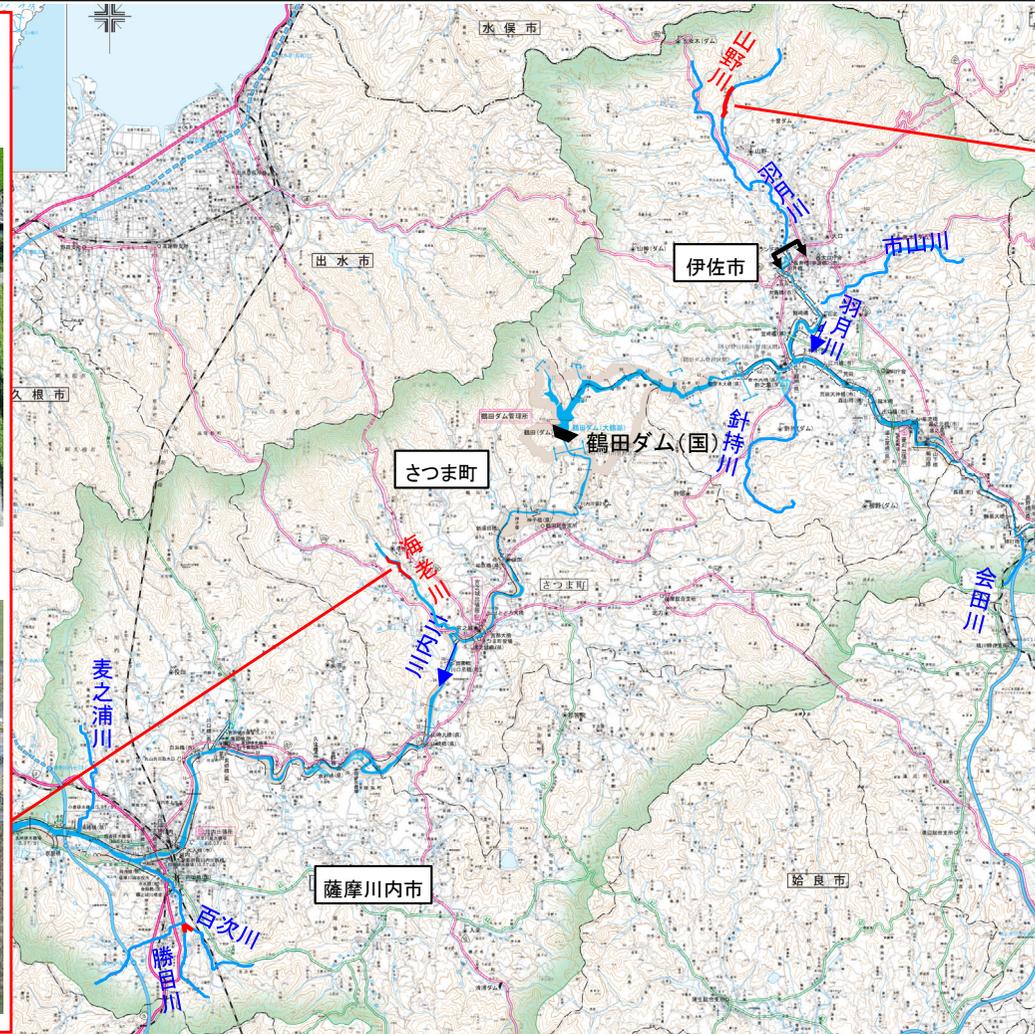
海老川

整備内容：堤防嵩上げ、護岸整備 等

被災状況（令和3年7月）



整備状況



山野川

整備内容：河道掘削、護岸整備 橋梁架替 等

被災状況（令和2年7月）



整備状況



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(災害関連)	護岸整備 等	鹿児島県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川整備箇所（災害関連事業）【鹿児島県】

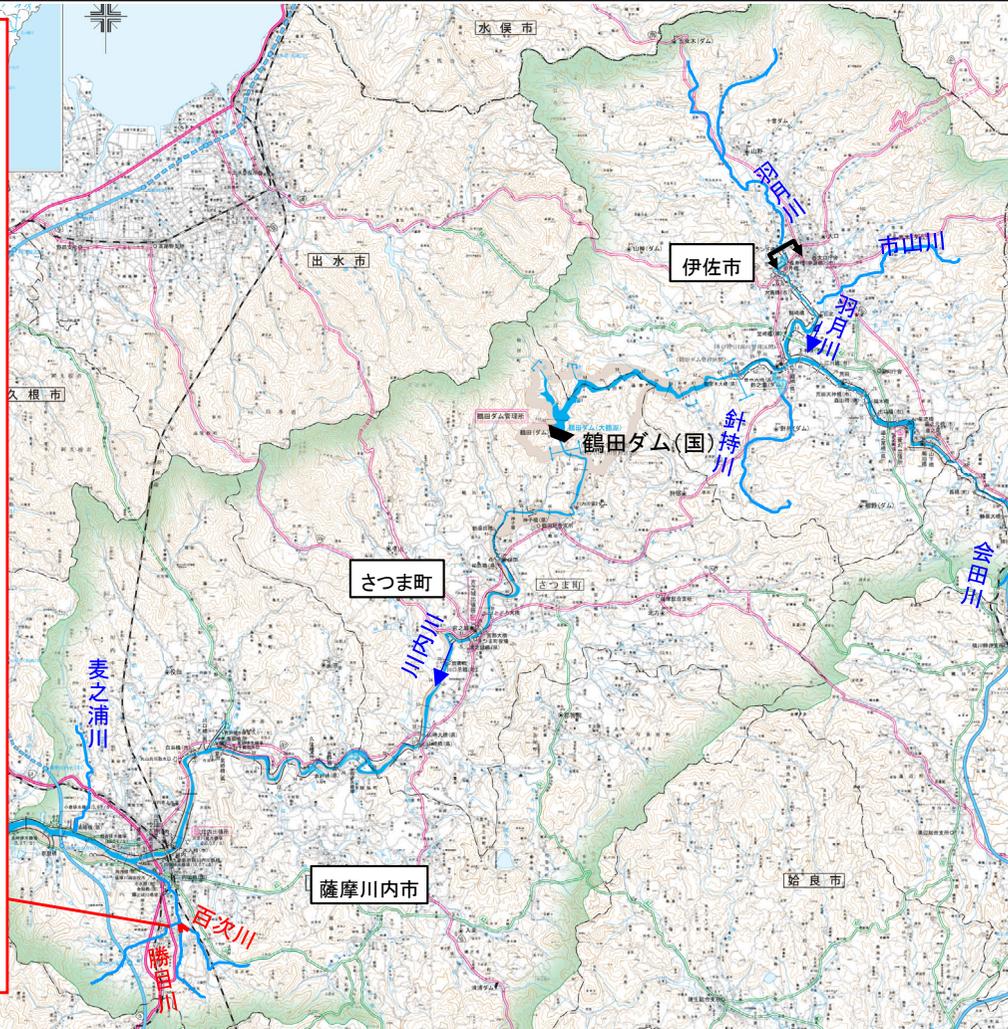
○令和2年7月豪雨により、家屋等の甚大な浸水被害が発生した百次川・勝目川では、再度災害防止を図るため、災害関連事業により整備を行い、流下能力の向上を図った。

被災状況

■ 百次川



■ 勝目川



完成状況（令和4年4月完成）

整備内容：堤防嵩上げ、護岸整備 等

■ 百次川



■ 勝目川



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策（災害関連）	護岸整備 等	鹿児島県	▶		

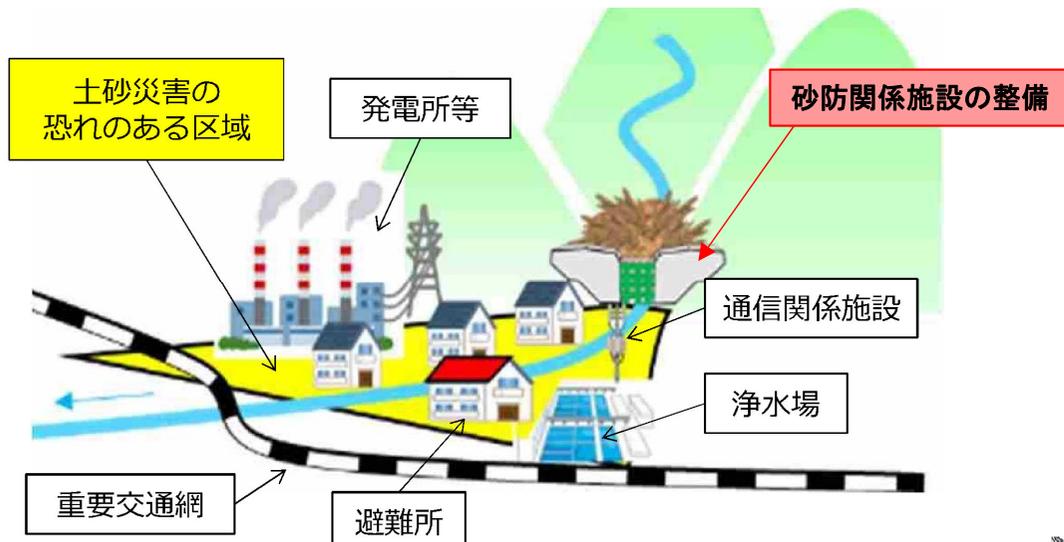
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

■いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進(ハード対策)(鹿児島県)

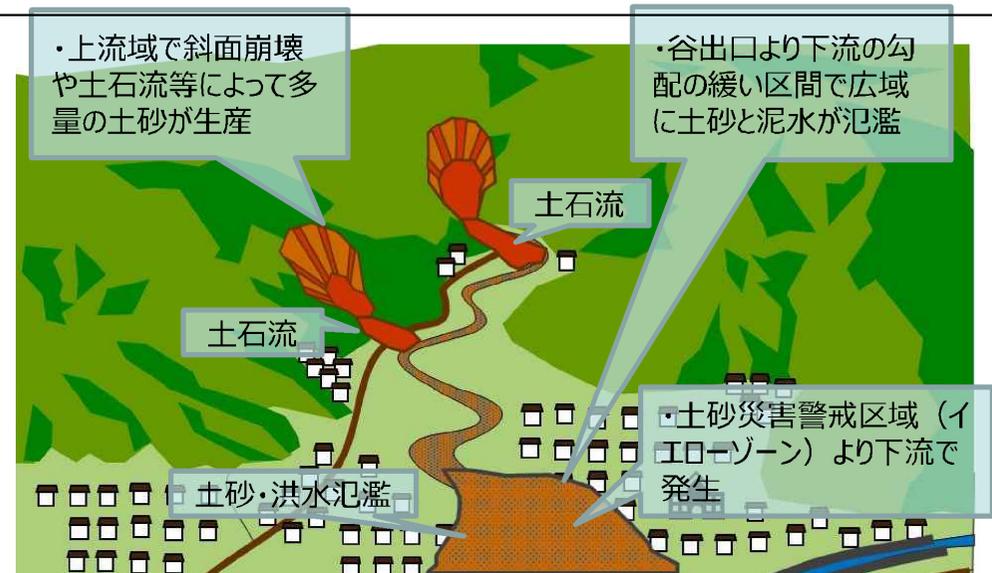
○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「暮らし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



道路・鉄道を保全する砂防事業



保育園を保全する急傾斜地崩壊対策事業



川内川水系における土砂・洪水氾濫対策の検討

- ・紫尾川流域
- ・羽月川流域

※今後、関係機関と連携し対策検討

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全 土砂・洪水氾濫対策	いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 地域の防災力向上【鹿児島県, 関係市町】

地域の防災 リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による 地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



↑
DIG (災害
図上訓練) の
様子

防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



非常持出品が
家にある人？



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



選ぶポイント
1 命をつなぐ物
水・食糧
2 自分にとって必要な物
薬・メガネ・補聴器
3 あると便利な物
ラジオ・懐中電灯
重さは体重の1～2割程度



どうだった？

思ったより、軽かったです！！

てく・てく歩こう～

参加人数
240人

その他の取組

- ・ MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・ 防災・お天気フェア
- ・ 防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修, 出前講座等	鹿児島県, 関係市町	▶		

■地域の防災力向上【鹿児島県，関係市町】

個別避難計画作成

- 市町村においては，災害対策基本法に基づき，避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており，本県では，全市町村が作成済となっている。
- 当該名簿については，本人の同意を得るなどし，市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており，市町村において取り組んでいるところ。
- また，市町村は，名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに，個別避難計画を作成することとしており，令和4年4月1日現在の作成状況は，対象者全員が8団体，一部の対象者が31団体，未作成が4団体となっている。
- 県では，引き続き，市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして，名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- これらを踏まえ，市の努力義務となっている個別避難計画の作成について，流域治水プロジェクトにおいても，あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	・個別避難計画策定支援	鹿児島県，関係市町	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川整備箇所 【宮崎県】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、**樹木伐採や河道掘削を実施**している。
- 次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策等において引き続き実施していく。

R4年度実績：【実施河川】2河川 【事業費】約5千万円 【河道掘削】約7.2千m³



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策等	河道掘削、樹木伐採	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進 【宮崎県】

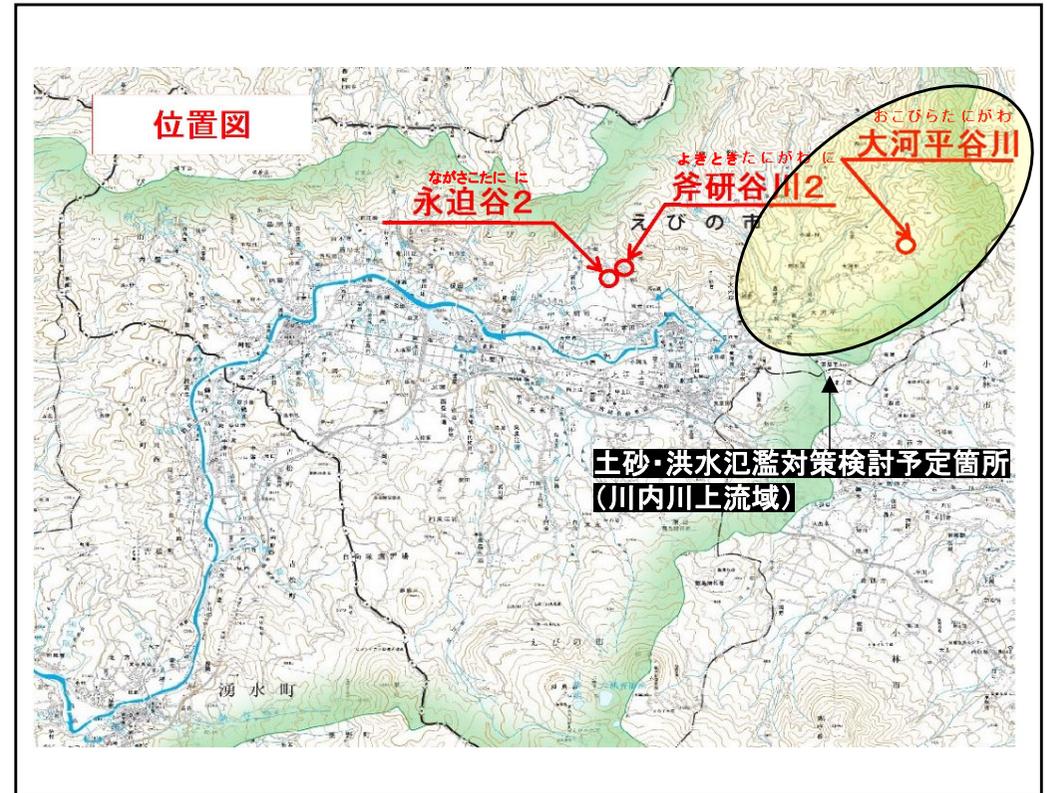
○流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防堰堤の整備を実施する。

実施地区：斧研谷川2、大河平谷川、永迫谷2
川内川上流域

【施エイメージ】



【位置図】



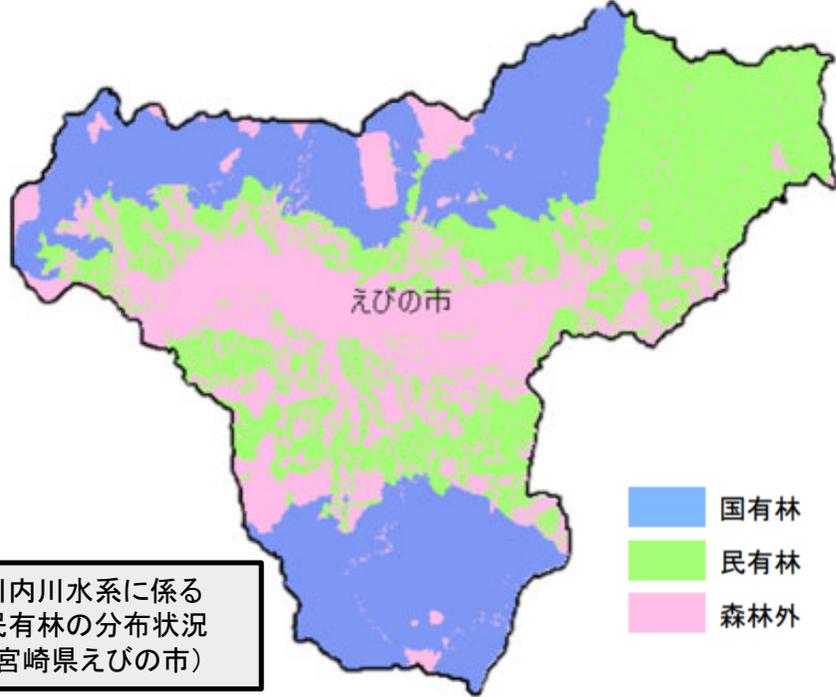
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進	宮崎県			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

森林整備による流出抑制対策 【宮崎県】

- 取組名 河川上流域(民有林)における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策
- 事業名 森林整備事業・治山事業
- 取組状況 再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等



川内川水系に係る民有林の分布状況(宮崎県えびの市)



【川内川流域の森林の状況】(えびの市)

森林面積: 20,209ha
 国有林: 10,811ha
 民有林: 9,398ha

【川内川流域の森林保全・整備の実施状況】

(令和3年度)

再造林 : 52ha 溪間工 3箇所
 下刈り : 89ha 山腹工 1箇所
 除間伐 : 134ha

【流域治水への事業効果等】

(保水機能効果)

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

(防災・減災効果)

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保全機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策等	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

雨水貯留施設の検討・整備（ほ場整備等による機能向上等） 【宮崎県】

農業農村整備事業を計画的に実施し、農業の多面的機能を発揮

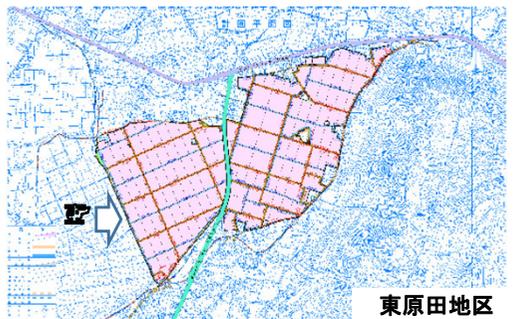
- ほ場整備により農地の区画拡大を実施する中で排水柵(ます)や排水路を整備し、水田がもつ貯留機能を向上
- 用排水路を整備することで山腹からの雨水をスムーズに排水し、周辺地域の被害を軽減

農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名	備考
ほ場整備	58.0ha	東原田、飯野麓東部(R5)	R2～
用排水路整備	38.6ha	亀沢 (R6)	R6～

(※R4事業管理計画より)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の検討・整備	宮崎県			

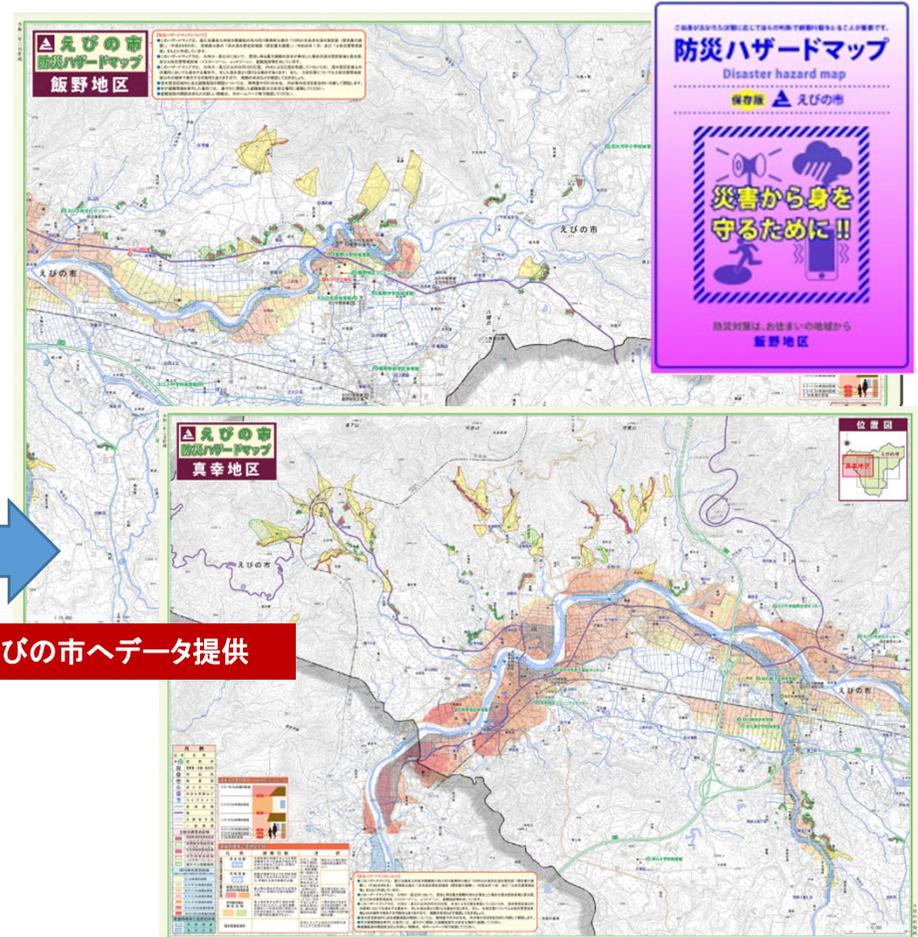
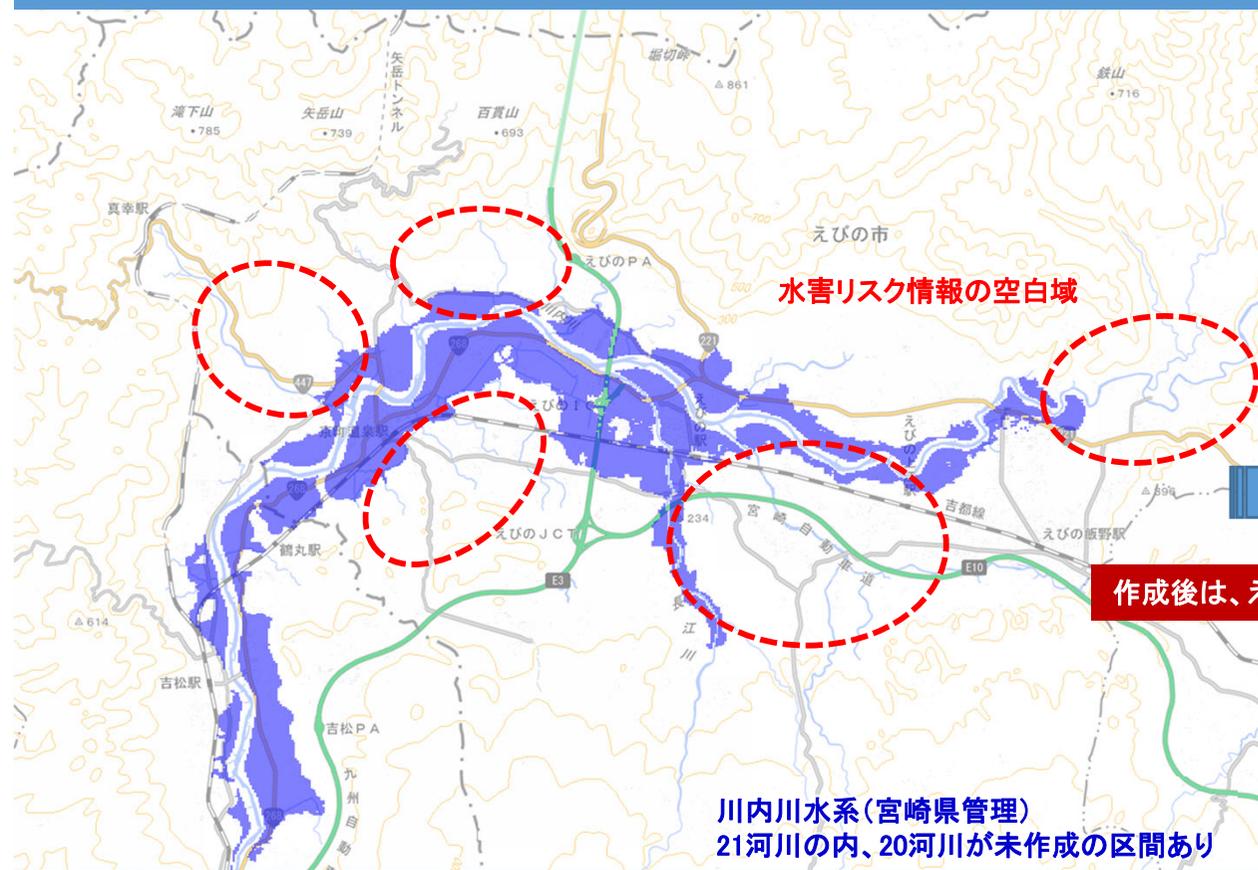
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

未策定区間の浸水想定区域図作成 【宮崎県】

- 洪水浸水想定区域図の未作成河川について、令和7年度までに浸水想定区域図を作成し、水害リスク情報空白域を解消していく。
- 作成した洪水浸水想定区域図データを提供する。

洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地帯の解消



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	未策定区間の浸水想定区域図作成	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

出前講座・防災学習の実施 【宮崎県】

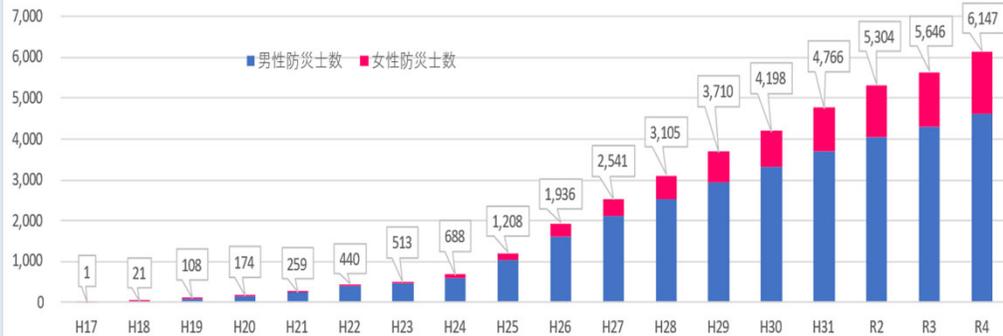
- 防災士養成研修…災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座…自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

・令和4年5月末現在の防災士数
 〈宮崎県〉 **6,147名** (人口10万人当たり579名)
 〈全国〉 231,845名 (人口10万人当たり184名)

・防災士数の順位
 全国…**14位** 九州…**3位** (福岡、大分に次ぐ)
 ※人口10万人比では、**全国6位**

防災士の推移 (累計)



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	出前講座・防災学習の実施	防災士養成研修・防災士出前講座等	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

防災啓発 【宮崎県】

○宮崎県防災の日（5月第4日曜日）

○防災週間（8月30日～9月5日）

令和4年度宮崎県防災の日(令和4年度は5/22)における啓発事業

- ①自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ②子ども向けオンラインセミナーの開催
- ③防災への興味関心を惹くため、「避難」「備蓄」のテーマわかりやすく学べる動画を制作し、広報した。

令和4年度防災週間における啓発事業

- 台風シーズン前に、CM、ショートムービーを2種類作成し、テレビ、SNS広告等で啓発した。
- ①避難情報の周知、避難場所・避難のタイミング
 - ②備蓄・非常持出品



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	住民自らの避難行動に資するためのリスク情報の共有	防災啓発 等	宮崎県			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

出前講座・防災学習の実施 【宮崎県】

- 宮崎県では、土砂災害から命を守るための啓発活動の充実を図るため、県内各地で地域防災の中心的な役割を担う自治会長等を対象にした「土砂災害防止講座」を実施している。
- 今年度は、えびの市にて講座を開催し、14名の参加があった。

出前講座の内容

8-1. どこが危ないのか 18

- 1 土砂災害危険箇所
- 2 土砂災害(特別)警戒区域

8-2. いつ危ないのか 22

8-2-1. 気象情報・避難情報

8-3. どうすればよいのか(1) 26

8-3-1. ハザードマップを確認しよう

- ①お近くの避難場所の確認
- ②避難の道順を決めておく
- ③早めの避難を心がける

土砂災害から身を守るための対応を3つのポイントに分けて説明

8-3-4. 避難の心得 30

【大原則】 早めの避難

- 「指定緊急避難場所」
・お近くの指定避難所へ早めの避難
- 「緊急的な住居場所」
・自らの判断で近くの頑丈な建物等に緊急的に避難することもあり得る
- 「屋内における安全確保」(横断避難)
・自宅内の上階階でからできるだけ離れた部屋に移動

早期の避難は命を救う！(実例) 31

2022年「土砂災害・全国防災訓練」の実施

【2022年キャッチフレーズ】 「避難の呼びかけ、安全の確認」

避難の呼びかけ 安全の確認

今年の「土砂災害・全国防災訓練」(概ね6月に実施)では、近年の災害で地域住民や家族が声をかけあうことで避難行動に結びついた事例が各地で報告されていることから、地域内での呼びかけにより避難する取り組みや、安全を確認する避難を重点的に実施する予定です。

避難の方法などについて実際の災害事例を踏まえて説明



土砂災害防止講座 実施状況(R4.5.23)

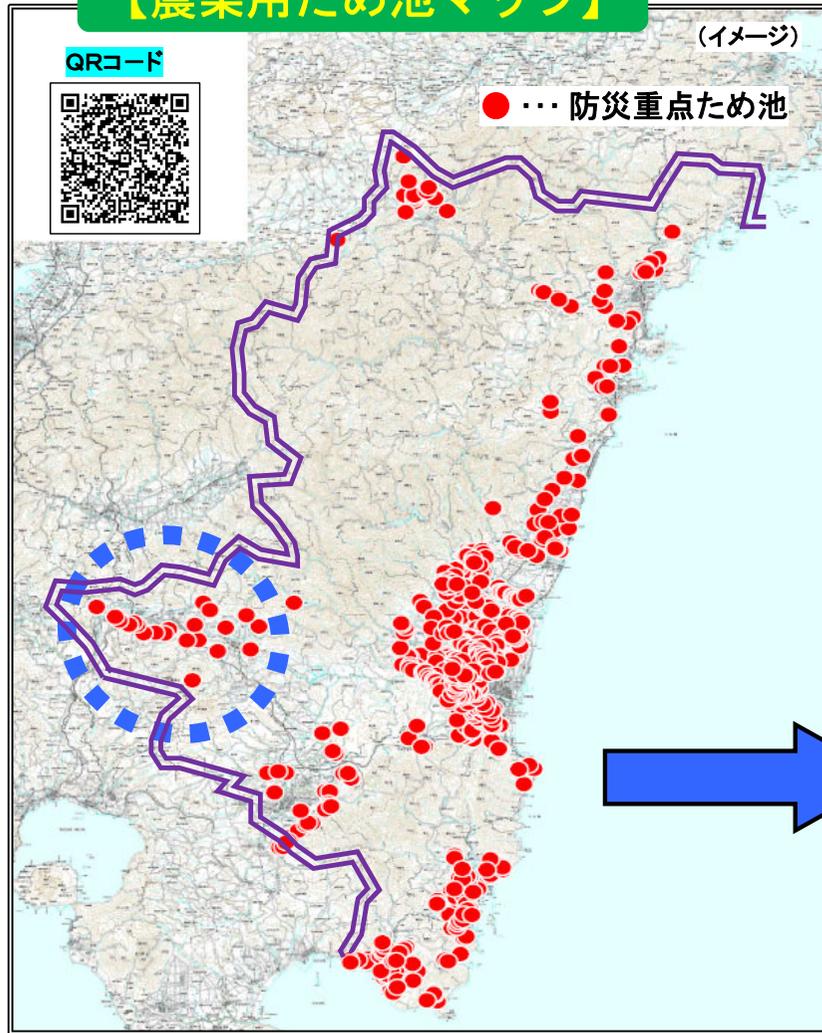
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	宮崎県			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

ため池マップの公表 【宮崎県】

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

【経緯】

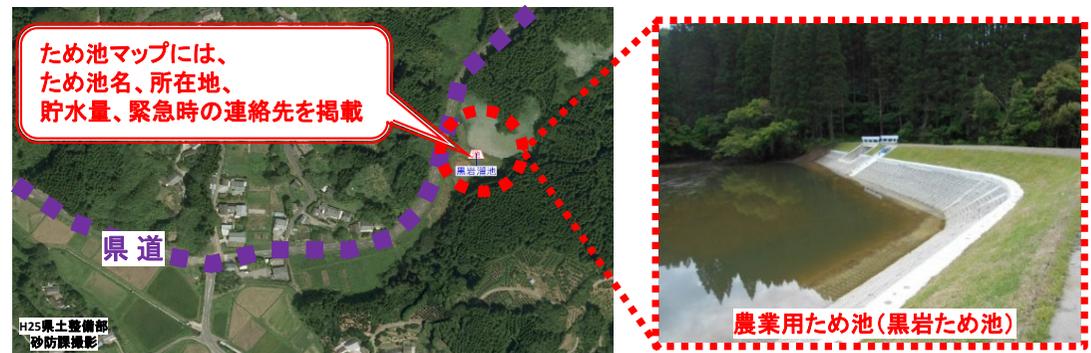
今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

(令和4年3月末時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
657箇所	424箇所

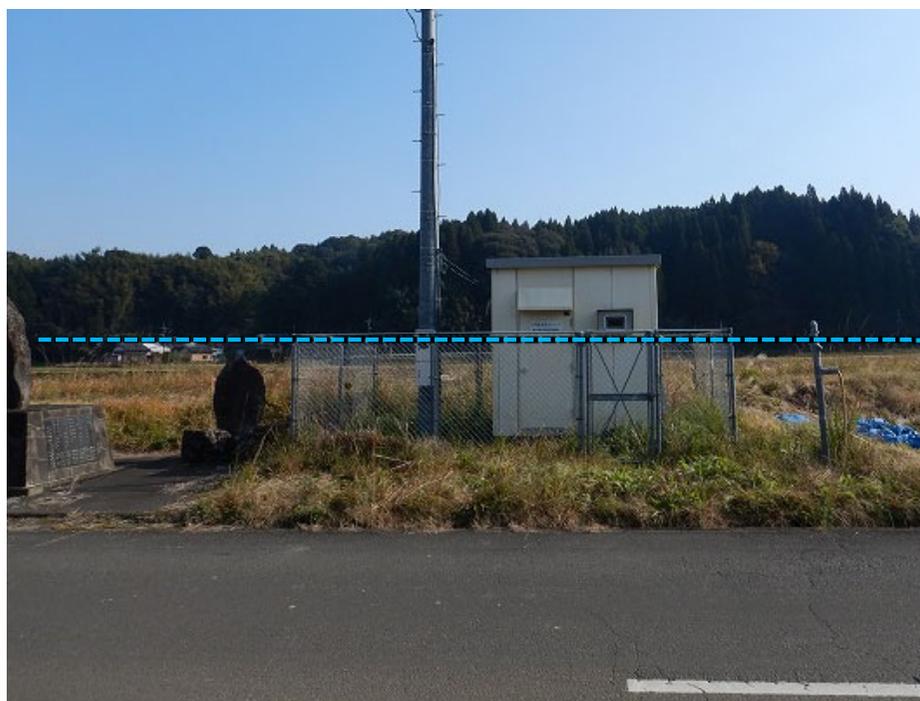


区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	ため池マップ公表	宮崎県	→		

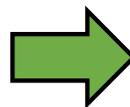
水位観測所局舎の耐水化【宮崎県】

大規模洪水時における河川水位の確実な情報提供に向けて、洪水浸水想定区域にある水位観測設備の耐水化を実施した。

柳ヶ本橋(長江川)



対策前



想定浸水深



対策後

大規模洪水時にも浸水することなく水位情報を発信

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

水門等管理人との情報連絡体制の強化(樋門・水閘門等情報伝達システムの構築)【薩摩川内市】

<樋門・水閘門等情報伝達システム イメージ>

当市では、住民等へ操作を委託している水門等の施設が多数存在し、大雨等の際には、職員が水門等管理人に対して個別に電話連絡で対応状況の確認を行うなど、多大な時間や労力を費やしている。

また、大雨の際の出動等の業務から成り手不足が生じ、雇用確保のため水門等管理人の負担軽減が求められている。

そこで、リアルタイムの操作状況確認など操作員（水門等管理人）との迅速な情報共有を図るため、樋門・水閘門等情報伝達システムを構築した。

併せて、施設の対応状況をリアルタイムにマップに公開し、施設が稼働している箇所を「見える化」し、住民の防災行動に役立てる。



※国土交通省の所管施設では、「アラームメールシステム」を活用した連絡体制を運用している。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	総合的な内水対策の検討	水門等管理人との情報連絡体制の強化	薩摩川内市			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

鉄道アンダーパス部における冠水対策【薩摩川内市】

令和3年7月豪雨により、市街地部の至るところで道路冠水が発生し、特に市道横馬場・田崎線の鉄道アンダーパス部においては、完全に道路が水没し、川内駅の東西を結ぶ主要道路が交通途絶になった。

これまでの水位監視カメラや路面標示等による注意喚起等の対策に加え、さらに豪雨時にアンダーパスへの車両侵入を防止する道路交通遮断機や浸水検知センサの設置を行い、対策の強化を図る。

令和3年7月豪雨 アンダーパス 冠水状況

至 阿久根市

九州新幹線

川内川

市道横馬場・田崎線

川内駅

333

至 いちき串木野市

肥薩おれんじ鉄道・九州新幹線

道路交通遮断機

九州新幹線

※他の市道3箇所の鉄道アンダーパス部についても道路交通遮断機を設置済

センサが浸水を検知すると、LINEで道路管理者に通知が届き、職員が現場に直行し、交通遮断機による安全対策を実施。

水位監視カメラ

路面標示設置

浸水検知センサ（令和5年度以降）

浸水発生

LINE通知

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	総合的な内水対策の検討	鉄道アンダーパス部における冠水対策	薩摩川内市			

川内川水系流域治水プロジェクト

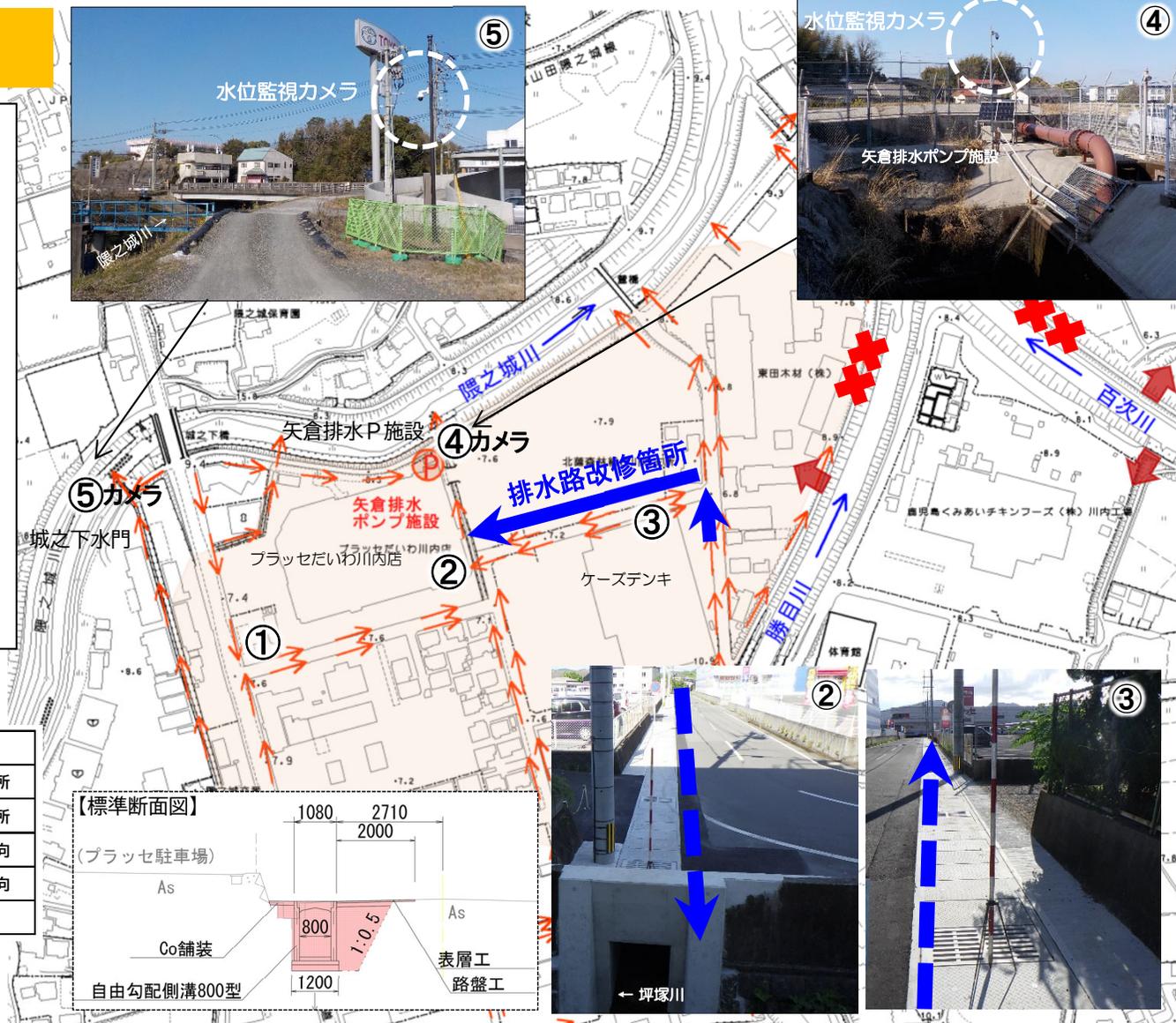
～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

隈之城地区内水対策【薩摩川内市】

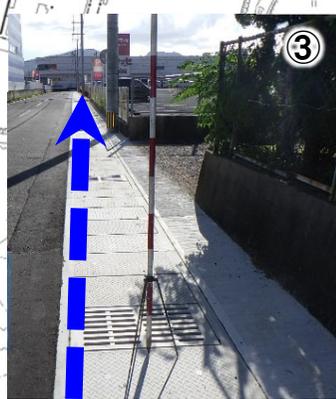
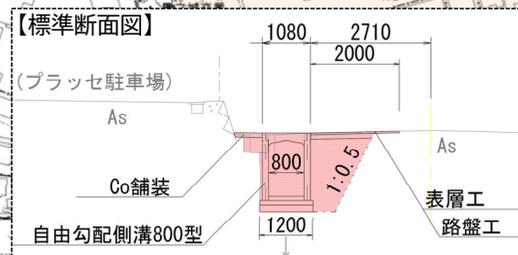
令和2年7月豪雨による河川堤防の決壊及び越水等により、道路冠水や家屋等の浸水など甚大なる被害が発生した。

内水対策として、市道勝目・矢倉線の道路側溝（約170m）の断面拡大（300×300→800×800～1,300）及び水路勾配の改善を行い、側溝の流下能力・貯留機能を拡大させるとともに、水の流れを変えることで排水効率の向上を図った。

また、河川内外の急激な水位上昇にも対応し、水門や排水ポンプ施設の適切な運用を図るため、水位監視カメラを設置した。



凡 例	
XX	: 河川堤防決壊箇所
➡	: 河川堤防越水箇所
➡ (blue)	: 改修後の排水方向
➡ (red)	: 改修前の排水方向
○ (pink)	: 家屋等浸水箇所



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中 長期
被害対象を減少させるための対策	総合的な内水対策の検討	・排水路改修 ・水位監視カメラ設置	薩摩川内市			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策(マイタイムラインの作成)【さつま町】



■ 事業の実施により将来的に実現したい地域像

- ①住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「どのタイミングで」・「どう行動するのか」をあらかじめ時系列で整理したうえで自分自身の防災行動計画を作成
- ②自主防災組織により地域内の危険を回避・軽減するために、リーダーなどが避難行動要支援者に対する支援行動や内容を確認
- ③参加していない自治会住民に対して会合時などの機会をとらえ、逃げ遅れることがないよう地域ぐるみでの取り組みを推進

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	さつま町			→

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

被害対象を減少させるための対策(浸水センサの活用)【さつま町】



■ 事業の実施により将来的に実現したい地域像

- ① 浸水センサの活用により、リアルタイムで現在の状況を確認し、即時の防災行動につなげる
- ② 道路の冠水による被害や通行止めの周知により避難経路における渋滞などのトラブルを回避・軽減する
- ③ 避難所開設・閉鎖の検討など防災対応に活用

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	川内川水系流域に住む外国人向け防災教室	さつま町			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

総合的な内水対策の検討【伊佐市の事例】

大雨時に内水氾濫が発生する地域の樋門付近に緊急内水対策車配備及び水中ポンプを設置し、内水を汲みあげる事で内水氾濫を防止する。

《国》緊急内水対策車配備状況



《市》ポンプ設置状況



内水氾濫状況



《国》緊急内水対策車排水状況



《市》ポンプ排水状況



	国		市					
	配備箇所	緊急内水対策車	設置箇所	10吋ポンプ (市所有)	8吋ポンプ (リース)	発電機 (リース)	設置・撤去委託	ポンプ操作員
令和4年度	3	3	15	10	22	23	業者	職員及び一部業者
令和5年度	3	3	16	10	24	24	業者	職員及び一部業者
増減	0	0	1	0	2	1		

具体的内容

大雨時に河川の水位が上昇すると、河川から水路への逆流防止のため水門閉操作をする事により内水が河川に流れず内水氾濫が発生する。そこで、樋門付近に緊急内水対策車配備及び内水対策用ポンプを設置し、水門閉操作時にポンプを稼働させ内水を河川へ流し内水氾濫を防止する。

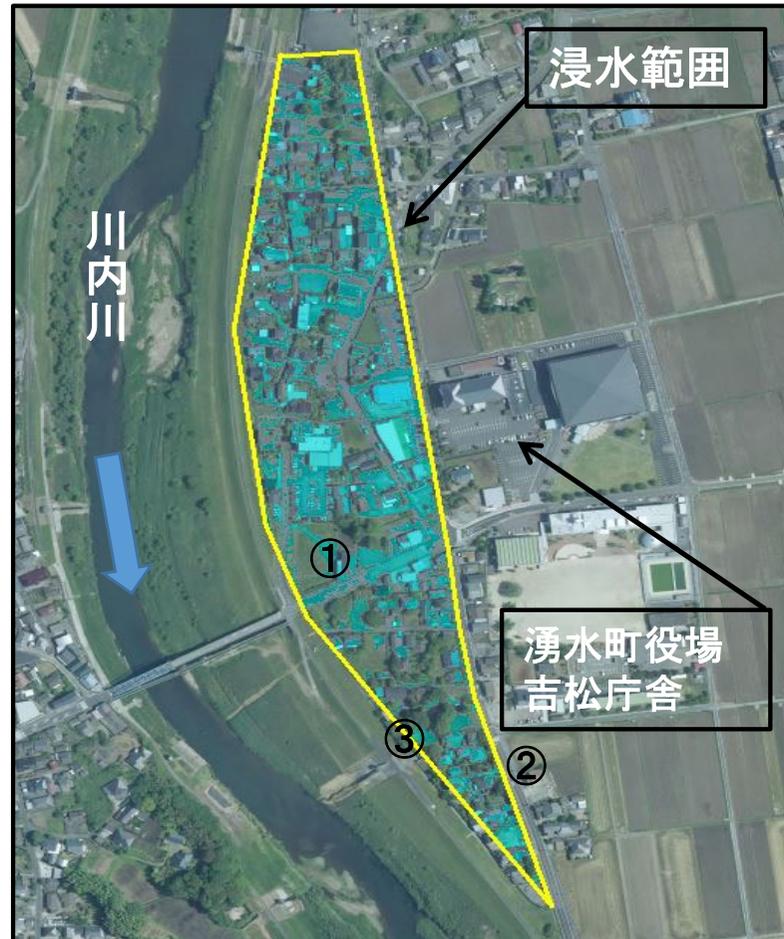
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	氾濫域での対策	総合的な内水対策の検討	伊佐市			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

総合的な内水対策の検討【湧水町】

大雨時に内水被害が発生する地域の樋門に排水ポンプを令和4年5月から12月まで常設し、内水被害の発生を軽減する。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	氾濫域での対策	内水対策排水ポンプ設置	湧水町	R4実施		